

※ 恐れ入りますが、部署内での回覧をお願い致します。

平成 27 年 1 月 26 日

各 位

公益財団法人食の安全・安心財団

理事長 唐木 英明

(共催；一般社団法人日本フードサービス協会)

第 16 回公益財団法人食の安全・安心財団意見交換会のご案内

外食・中食におけるアレルギー情報を考える

～自主的取組の推進に向けて～

食物アレルギーは、特定のアレルゲンを摂取することでアレルギー症状が起こり、時には生命にも関わることから、患者にとって食品に含まれるアレルゲンの情報は極めて重要であり、提供される情報は適切で正確であることが求められます。

現在、工場加工される容器包装された加工食品については、法律によりアレルギー表示が義務付けられていますが、来店した客の注文に応じて多様なメニューを同じ厨房で調理する外食店等については、正確性の確保、実行性の困難等の現状から表示の義務化は行われていません。平成 24 年 8 月の食品表示一元化検討会報告においても、外食等のアレルギー表示の在り方については、事業者の自主的な情報提供の促進に向けて別途検討の場を設けることが適当とされていました。

消費者庁は、昨年 4 月に、アレルギー患者等にとって必要な情報提供の内容及びその提供方法と事業者にとって実行可能性のあるアレルギー情報の提供促進のための方策について、幅広く検討するため「外食等におけるアレルギー情報の在り方検討会」を設置、12 月に、「中間報告」として、正しい知識・理解に基づく事業者の規模・業態に応じたアレルギー情報の自主的な情報提供の促進に向けた基本的な留意点を取りまとめました。

本意見交換会は、中間報告を踏まえて、外食事業者等におけるアレルギー情報の現状と課題、今後の在り方について幅広い関係者と情報を共有するとともに意見を交換するものです。

記

1 日 時 平成 27 年 2 月 26 日 (木) 15:00~17:30

2 会 場 ベルサール半蔵門 イベントホール A

〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-6-4 住友不動産半蔵門駅前ビル 2 F

※ 恐れ入りますが、部署内での回覧をお願い致します。

3 内容

(1) 講演

「外食・中食における食物アレルギーの問題」

今井 孝成 氏 (外食等におけるアレルギー情報の在り方検討会・座長代理、
昭和大学医学部小児学科講座講師)

「外食等におけるアレルギー情報の在り方検討会報告について」

石丸 浩太郎 氏 (消費者庁食品表示企画課課長補佐)

(2) 会場参加者との意見交換

今井 孝成 氏 (講演者)

石丸 浩太郎 氏 (講演者)

服部 佳苗 氏 (検討会委員、特定非営利活動法人ALサインプロジェクト理事長)

園部 まり子 氏 (検討会委員、特定非営利活動法人アレルギーを考える母の会代表)

田野 成美 氏 (検討会委員、大阪狭山食物アレルギー・アトピーサークル代表)

西脇 共子 氏 (株式会社モスフードサービスCSR推進室 品質保証グループ)

関川 和孝 (検討会委員、一般社団法人日本フードサービス協会専務理事)

コーディネーター

唐木 英明 (東大名誉教授、公益財団法人食の安全・安心財団理事長)

4. 申込方法：別紙申込用紙をFAX又はメールにて2月23日(月)までにお申し込み下さい。

FAX：03(5403)1280 メール：info-anan2010@anan-zaidan.or.jp

- ・参加受付は先着順となります。参加者多数により参加いただけない場合は、2月24日(火)までに、ご登録いただきましたメールアドレスまたはFAX番号にご連絡いたします。
- ・ご参加いただける方には特段連絡等はいたしません。当日会場へお越しください。

5. 参加費用 資料費1000円 (取材・当財団賛助会員は無料)

お問い合わせは、公益財団法人食の安全・安心財団 (Tel 03-5403-1064) までお願いいたします。

【ベルサール半蔵門へのアクセス】

半蔵門駅 (地下鉄半蔵門線・3番出口から直結)

麴町駅 (地下鉄有楽町線・3番出口より徒歩6分)

四ツ谷駅 (JR中央線・総武線/地下鉄丸の内線・南北線・麴町口より徒歩12分)



